

12月の園だより

令和4年11月29日
杉並区立西荻北子供園
園長 石床 美穂子

幼児の育ちを小学校につなげる

副園長 小森 三奈子

11月4日(火)、西荻北子供園で幼児教育公開を行いました。幼児教育公開とは、区内の小学校の先生方が、子供園での子どもたちの遊びや生活の様子を見て、幼児理解を深めるとともに、幼児期の終わりまでに育みたい姿について考え、小学校に入学してからの学びや生活(※スタートカリキュラム)に、どのようなことがいかにするかということについて話し合いの機会をもつ研修です。

研修には、区内小学校の先生方30名が参加し、年長児の保育の様子(友達と一緒にするリレー遊びと降園前の集まり)を見てもらいました。

リレー遊びでは、遊びに必要な三角コーンやバトン等を自分たちで準備したり、チームの仲間と声を掛け合って集まり、走る順番を決め、「エイエイオー」の掛け声で士気を高めたりする等、主体的に遊びを進める姿が見られました。真剣に走るからこそ、負けて悔しい思いもすることもあり、この日も一人の幼児が悔しさから泣き出しました。すると、その幼児の周りには、自然と仲間が集まり、優しい声を掛け慰める姿がありました。年少・年中組で、担任が幼児の思いを丁寧に受け止め寄り添うということを行ってきたことで、年長のこの時期は『大切な友達』『クラスの仲間』という思いが育ち、自ら友達の気持ちに寄り添う姿が見られるようになってきます。

また、帰りの会では、見通しをもち自ら集まり話を聞く姿勢になったり、当番活動の引き継ぎでは、友達同士で教え合う姿が見られたりする等、保育者の見守りだけで動くことができるようになっていきます。

6月の園だよりでも、本園の特別支援教育についてお伝えしましたが、子供園では誰もが生活しやすく学びやすい環境づくりを心掛け、子どもたちが「分かってできる」「自分でできる」という力を育むことを大事にしています。

年長のリレー遊びでは、走る順番を決める時はホワイトボードを利用し、一人ひとりの名前が書かれた磁石付きの名前カードを走る順番に並べて貼るようにしています。そのことで、話し合っていることが明確になり、チームの皆で一緒に考えることができます。また、数字が書かれたチームカラーのゼッケンを着けることで、自分の順番や同じチームの仲間を意識し、自分たちで並べるようにしています。

幼児教育公開の協議会や事後アンケートでは、小学校の先生方から「子供園で子どもたちに育まれた主体性を小学校で発揮できるようにスタートカリキュラムの内容を工夫、改善していきたい」「子どもたちの意欲や主体性を大切に授業づくりを頑張りたい」という感想が多く聞かれました。

1年生というと、学校の中では一番小さな学年ですが、ゼロからのスタートではなく、就学前施設で育ってきた力を理解し、小学校での学習や生活を考えていくことが大切です。今後もこのような研修や連携の機会を通して幼児の育ちを小学校の先生方と共有し、子どもたちの成長を支えていきます。

※スタートカリキュラムとは、小学校に入学した児童が、子供園、幼稚園、保育園などにおける遊びや生活を通じた育ちと学びを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくための小学校入門期カリキュラムです。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

園舎裏で落ち葉やドングリ拾いをして、秋の自然に親しみました。葉っぱの色の違いや葉の大きさの違い、形の違いを見付けては保育者や周りの幼児に見せて喜んでいました。葉っぱのお風呂や、ドングリの砂場のごちそう、ドングリをお金に見立てたりし、ごっこ遊びの中でも自然物を使って楽しむ姿が見られました。

戸外遊びでは、「むっくりくまさん」の鬼ごっこを取り入れ、体を動かすことを楽しんでいます。寝ているくま（保育者）を見付けると、自然と手を繋いで輪になったり、みんなで歌を唱和したりし、一緒に遊ぶ楽しさも感じてきています。

<今月のねらい>

○自分で選んだ遊びをしたり、面白そうなことをしている幼児と関わったりしながら遊ぶことを楽しむ。

○保育者や他の幼児と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。

○冬の生活の仕方（衣服の調節や着脱、手洗い）を覚え、自分でできることはしようとする。

<家庭との連携>

寒くなったことで上着を着ること、チャックやボタンなどをする機会が増えていきます。袖の裏返しも少しずつやり方を知らせて、やり方を身に付けているところです。ご家庭でも頑張っている姿は見守り、難しいところはやり方を伝えたり、手を添えたりし、「自分でできた！」という思いを感じられるようにしていきましょう。

4歳児 くま組

なにかになりきって動くことが楽しくなり、自分の好きな動物ごっこや海賊ごっこなどを友達と一緒に楽しむ姿が見られるようになってきました。友達とやりとりをしながら遊ぶことも楽しくなり、「バナナ鬼しよう！」と友達を誘い合って遊び始め、追う・追われる・助けるの動きを楽しみながら、たくさん体を動かして遊んでいます。子ども会に向けても、少しずつ取組を進めています。

<今月のねらい>

○自分の思ったことや考えたことを自分なりに表現したり、相手に伝えながら友達と関わったりして遊ぶことを楽しむ。

○絵本や物語に親しみを持ち、役になりきって動いたり、表現したりすることを楽しむ。

○冬の生活の仕方が分かり、自分から身の回りのことをしようとする。

<家庭との連携>

友達と一緒に遊ぶことが楽しくなっている半面、思いの違いや伝わらないもどかしさ等から、葛藤する姿やトラブル等も見られます。また、相手に自分の思いを伝えられずに我慢をしてしまう姿もあります。それぞれが、思いを出せるように支えていきます。保護者の方もお子さんの姿で気になることがありましたら遠慮なくお知らせください。

5歳児 ぞう組

12月の子ども会に向けて、張り切って取り組みを進めています。今までいろいろな物語の世界を楽しみながらなりきって動くことの面白さを感じてきました。子ども会に向けての劇遊びでは、役の気持ちを言葉にして表現したり、同じ役の友達と誘い合ってひとつひとつの場面をどうするか相談したりしながら、自分たちで「子ども会」という共通の目的に向かって進めています。また、戸外で大勢でドッジボールをすることも楽しんでしています。Aちゃんがボールを持つと相手チームが「Aちゃん強いんだよね〜！」と言ったり、負けて悔し泣きしている友達に「次は勝てるよ」と寄り添ったり、運動面だけでない心情面での成長も見られています。

<今月のねらい>

- 学級の友達と一緒に共通の目的に向かって協力し合い、やり遂げた喜びや達成感を感じる。
- 友達と共通のめあてをもち、試したり工夫したりしながら遊びを進めることで遊びが面白くなることを感じる。
- 健康な生活や病気の予防に関心をもち、意識して行動する。

<家庭との連携>

今月は、保育参観・個人面談を予定しています。保育参観では、学級全体の活動の中での友達との関わりの様子や、担任の話を聞いて理解して動く姿等をご覧いただければと思います。個人面談に向けては、気になることがありましたら事前に担任までお知らせください。

ほしグループ 長時間保育

うさぎ組は、砂場で型抜きを使って料理づくりを楽しんでいます。つくった料理を自分たちのお家に持っていき保育者と一緒に喜んで食べる姿が見られています。くま組は、以前から楽しんでいる忍者の引越し(鬼ごっこ)を子ども同士で鬼と逃げる人を決めて繰り返し楽しんでいます。また、自然物を使ってつくった料理に飾りつけて遊ぶ姿が見られています。午睡をしなくなったぞう組は休息の時間に保育室でゆったりと遊んで過ごしています。おやつ後は、戸外で友達と誘いあって中当てやドッジボールを楽しんでいます。また、異年齢の幼児と大縄や鬼ごっこをする姿も見られています。

上着の着脱で体温調節をしながら、今月もたくさん戸外遊びをしていきます。ご家庭でも上着のチャックの上げ方や袖の裏返しの直し方等、お子さんと一緒に確認してみてください。